

全国書店員が選んだ

いちばん！

売りたい本



2018年本屋大賞

本屋大賞

ノミネート作品発表

書籍名五十音順

『AXアックス』

伊坂幸太郎◆KADOKAWA

『かがみの孤城』

辻村深月◆ポプラ社

『キラキラ共和国』

小川糸◆幻冬舎

『崩れる脳を抱きしめて』

知念実希人◆実業之日本社

『屍人荘の殺人』

今村昌弘◆東京創元社

『騙し絵の牙』

塩田武士◆KADOKAWA

『たゆたえども沈まず』

原田マハ◆幻冬舎

『盤上の向日葵』

柚月裕子◆中央公論新社

『百貨の魔法』

村山早紀◆ポプラ社

『星の子』

今村夏子◆朝日新聞出版

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。対象は16年12月1日から17年11月30日の間に刊行された（奥付に準拠）日本の小説（判型問わずオリジナルの小説）

Supported by

NOLTY® PAGEM
ノルティ ペイジェム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。